

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【公開番号】特開2000-350825(P2000-350825A)

【公開日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願平11-165878

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】複数種類の図柄を可変表示可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果により遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記遊技機の遊技状態を制御する手段であって、前記可変表示装置における表示を制御するための指令情報を出力する遊技制御手段と、

該遊技制御手段から出力された指令情報に従って前記可変表示装置を可変開始させた後図柄を導出表示する制御を行なう可変表示制御手段とを含み、

前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置での可変表示における表示結果を事前に決定する表示結果決定手段と、

前記可変表示装置における可変開始から導出表示された図柄が確定表示に至るまでに要する可変表示期間の長さを決定する期間決定手段と、

前記可変表示装置を可変開始させるときに、前記期間決定手段により決定された可変表示期間の長さを特定可能な可変表示期間情報と前記表示結果決定手段により決定された表示結果を特定可能な表示結果情報とを前記指令情報として出力するとともに、前記期間決定手段により決定された可変表示期間が経過したときに、導出表示された図柄を確定表示させる旨を特定可能な確定情報を前記指令情報としてさらに出力することが可能な指令情報出力手段とを含み、

前記可変表示制御手段は、前記可変表示期間情報により特定された可変表示期間内において図柄の可変表示を行ない前記表示結果情報に基づいて図柄を導出表示させるとともに、前記確定情報に応じて、当該図柄を確定表示させる表示制御を行ない、

当該表示制御の際ににおいて前記図柄を導出表示させる時期と前記可変表示期間情報により特定された可変表示期間において前記図柄を確定表示させる時期との間に確定待ち期間が生じた場合に、当該確定待ち期間中に前記図柄を所定の待機状態で可変表示させる表示制御を行なうことの特徴とする、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の本発明は、複数種類の図柄を可変表示可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果により遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記遊技機の遊技状態を制御する手段であって、前記可変表示装置における表示を制御するための指令情報を出力する遊技制御手段と、

該遊技制御手段から出力された指令情報に従って前記可変表示装置を可変開始させた後図柄を導出表示する制御を行なう可変表示制御手段とを含み、

前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置での可変表示における表示結果を事前に決定する表示結果決定手段と、

前記可変表示装置における可変開始から導出表示された図柄が確定表示に至るまでに要する可変表示期間の長さを決定する期間決定手段と、

前記可変表示装置を可変開始させるときに、前記期間決定手段により決定された可変表示期間の長さを特定可能な可変表示期間情報と前記表示結果決定手段により決定された表示結果を特定可能な表示結果情報とを前記指令情報として出力するとともに、前記期間決定手段により決定された可変表示期間が経過したときに、導出表示された図柄を確定表示させる旨を特定可能な確定情報を前記指令情報としてさらに出力することが可能な指令情報出力手段とを含み、

前記可変表示制御手段は、前記可変表示期間情報により特定された可変表示期間内において図柄の可変表示を行ない前記表示結果情報に基づいて図柄を導出表示させるとともに、前記確定情報に応じて、当該図柄を確定表示させる表示制御を行ない、

当該表示制御の際ににおいて前記図柄を導出表示させる時期と前記可変表示期間情報により特定された可変表示期間において前記図柄を確定表示させる時期との間に確定待ち期間が生じた場合に、当該確定待ち期間中に前記図柄を所定の待機状態で可変表示させる表示制御を行なうことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【作用】

請求項1に記載の本発明によれば、次のように作用する。遊技機の遊技状態を制御する手段である遊技制御手段の働きにより、可変表示装置における表示を制御するための指令情報が出力される。可変表示制御手段の働きにより、遊技制御手段から出力された指令情報を受け、当該指令情報に従って可変表示装置を可変開始させた後図柄を導出表示する制御が行なわれる。遊技制御手段に含まれる表示結果決定手段の働きにより、可変表示装置での可変表示における表示結果が事前に決定される。遊技制御手段に含まれる期間決定手段の働きにより、可変表示装置における可変開始から導出された図柄の確定表示に至るまでに要する可変表示期間の長さが決定される。遊技制御手段に含まれる指令情報出力手段の働きにより、可変表示装置を可変開始させるときに、期間決定手段により決定された可変表示期間の長さを特定可能な可変表示期間情報と表示結果決定手段により決定された表示結果を特定可能な表示結果情報とが指令情報として出力されるとともに、前記期間決定手段により決定された可変表示期間が経過したときに、導出表示された図柄を確定表示させる旨を特定可能な確定情報を前記指令情報としてさらに出力される。可変表示制御手段のさらなる働きにより、可変表示期間情報により特定された可変表示期間内において識別情報の可変表示を行ない表示結果情報に基づいて図柄を導出表示させるとともに、前記確定情報に応じて、当該図柄を確定表示させる表示制御が行なわれる。さらに、当該表示制御の際ににおいて前記図柄を導出表示させる時期と可変表示期間情報により特定された可変表示期間において前記図柄を確定表示させる時期との間に確定待ち期間が生じた場合に、当

該確定待ち期間中に前記図柄を所定の待機状態で可変表示させる表示制御が行なわれる。